

平成30年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



平成30年12月  
海老名市立東柏ヶ谷小学校

## 目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6



## 資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に興味がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
  - ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

#### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

### (2) 児童生徒に対する質問紙調査

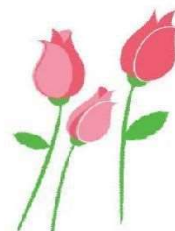
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

### (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成30年4月17日(火)



## 国語に関する調査結果

### 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことができます。
- 登場人物の心情について、情景描写を基にとらえることができます。

#### 《努力を要する所》

- 学習した漢字を文の中で正しく使うことに課題があります。
- 相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに課題があります。

### 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 多くの児童が話し合いの参加者として、質問の意図を捉えることができます。
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができます。

#### 《努力を要する所》

- 計画的に話し合うための司会の役割の理解に課題があります。
- 目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題があります。

### これまでの取組から

- 全ての教科で様々な形態の話し合い活動を取り入れてきました。
- 国語科だけではなく他教科等の調べ学習の時間でも、目的や意図に応じた資料を活用する力を高めてきました。

### 今後の具体的な取組について

- 読書活動の充実に加え、読んだ本の要旨を発表したり、文章を書いたりする活動を増やしていきます。
- 昨年度に引き続き、学習した漢字を活用する機会を増やしていきます。





## 算数に関する調査結果

### 算数 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 十進法を理解し、3桁の整数同士の大小について適切に答えることができます。
- 異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解しています。

#### 《努力を要する所》

- 円周率の意味をとらえ、円の直径の長さと同周の関係を理解することに課題があります。
- 1に当たる大きさを求める問題場面で、数量の関係を理解して数直線上に表わすことに課題があります。

### 算数 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 示された条件を基に、適切な図形を見出すことができます。
- 日常生活の場面で、示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができます。

#### 《努力を要する所》

- メモの情報とグラフを関連付け、それを言葉や数を用いて記述することに課題があります。
- 一つの事柄について表わした棒グラフと帯グラフを読み取ったり、読み取ったことを表現したりすることに課題があります。

### これまでの取組から

- 「計算タイム」に取り組み、計算の基礎基本をしっかりと身につけることを大切にしてきました。
- 考える足掛かりや判断基準を示し、立てた式や数値の意味を説明したり、友だちの考えと比較したりする活動を取り入れた授業を進めてきました。

### 今後の具体的な取組について

- 他教科においても、自分の考えや判断の理由をしっかりと表現できる力を身につけられるよう取り組んでいきます。
- 算数は、低学年からの積み重ねです。今後も、基礎基本をしっかりと身につけ、学習を関連づけて進めていけるよう取り組んでいきます。



## 理科に関する調査結果

### 《優れている所》

- ろ過器具を使った実験において問題点を見だし、ろ過の適切な操作方を正しく選択することができます。
- 海水と水道水を区別するために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察することができます。
- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを理解し、食塩を水に溶かしたときの全体の重さを正しく選択することができます。

### 《努力を要する所》

- 科学的な言葉や概念の理解に課題があります。特に、骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く設問では、無解答が目立ちました。
- 太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合った物作りに適応するなど、既習の内容や生活経験を実際の自然や日常生活などに適応することに課題があります。

### これまでの取組から

- 児童の発想や思い、疑問などを出発点に実験や観察を行ってきました。
- 実験結果から考察し、自分の考えを表現する機会を大切にしてきました。



### 今後の具体的な取組について

- 学習した内容と日常生活との関連を図り、身の回りで見られる事象・現象について実感を伴って理解できるように指導していきます。
- 自分の考えを表現するだけでなく、友だちの考えを基に自分の考えをふり返ったり見直したりすることにより、理解を深めていけるよう指導していきます。

## 児童質問紙の結果より

### 学習について

#### 《よかった所》

- 「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」「家で、学校の宿題をしていますか」の質問では、全国平均を上回り、家庭学習が習慣化していることがわかります。
- 算数の授業で、もっと簡単に解く方法がないか考えたり公式やきまりのわけを理解しようとしたりする意識が、全国平均を上回り、算数の学習に対して意欲的に取り組んでいることがわかります。

#### 《課題と思われる所》

- 話し合い活動や発表する場面で自分の考えや意見を伝えることが苦手と感じている児童が多くみられます。
- 「授業で学んだことを他の学習や普段の生活にいかしていますか」の質問では、全国平均を下回っており、学習と生活が結びついていないことが伺えます。

### 生活について

#### 《よかった所》

- 「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童が97%以上と、多くの児童が人の役に立ちたいと思っていることがわかります。
- 「家の人と学校での出来事について話をしますか」の質問では、多くの児童が話をしていると答え、家庭が学校での出来事を話せる環境であることにより、安心して学校生活を送れていることがわかります。

#### 《課題と思われる所》

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の質問では、寝ていないと答えた児童が多く、生活習慣の見直しの必要性を感じます。
- 読書時間が全国平均を下回っています。朝読書の時間だけではなく本に触れる時間を作る必要性を感じます。

### 今後の具体的な取組について

- 多くの児童が、自分の意見や考えを伝えることに苦手意識をもっています。学習や学校行事などの活動を通して、表現力を育てていきます。
- 語彙力や表現力を身につけるためにも、今後も朝読書など読書活動の充実を図っていきます。
- 本校の特色である地域との連携を大切に、学校・家庭・地域がひびきあい、ともに子どもの成長を支えていきます。



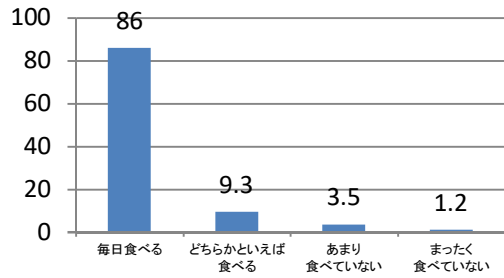
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 毎日、家で朝食をとりましょう。元気のみなもとです。

しっかりと朝食をとって学校に登校させてください。

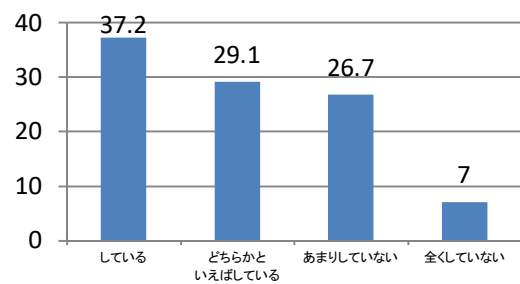
朝食を毎日食べていますか。



## 2 決まった時刻に寝ましょう。

就寝時刻を決め、睡眠時間を十分にとることで朝すっきりと目覚められるようにしてください。

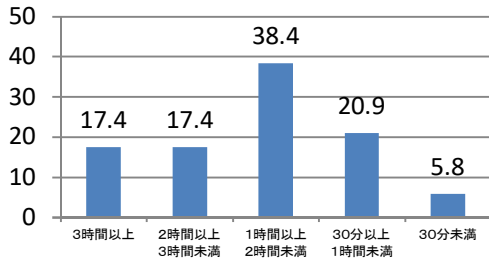
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



## 3 家庭での学習習慣をつけましょう。

学習時間の目安は、10分×学年です。子どもたちに学習の習慣が身につくように見守ってください。

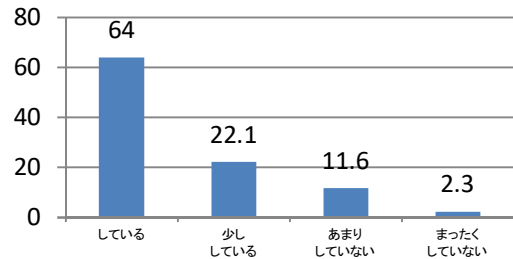
学校の授業時間以外に、普段1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。(学習塾等含む)



## 4 家庭でのコミュニケーションづくりを大切にしましょう。

家庭でのコミュニケーションは必要不可欠です。学校の出来事について話す時間をつくりましょう。

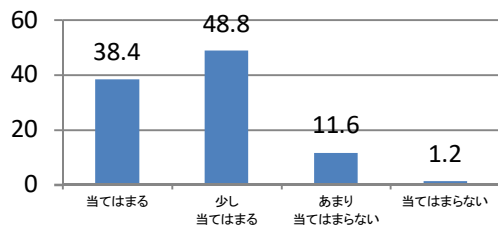
家の人(兄弟・姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。



## 5 できるようになったことや、やさしい心が見えたらほめましょう。

自分のよさがわかったり、自信をもったりすることで、様々なことが飛躍的に伸びていきます。

自分には良いところがありますか。



## 6 住んでいる地域の行事に参加しましょう。

地域の行事に参加する児童が減ってきています。子どもを知ってもらうことで安全も守られます。

今住んでいる地域の行事に参加していますか。

